



Voice Report



「未来を守ることに貢献することが我社の使命」



代表取締役社長 萩原 慎太郎 氏

- 社名 **株式会社アビス製袋所**
- 代表取締役社長 萩原 慎太郎 氏
- 本社所在地 大阪市住之江区北加賀屋4丁目8番37号
- 主な事業内容 包装用品卸業
- 従業員数 36名（男性：27名・女性：9名）
- **健康経営優良法人 2021認定**

従業員の未来を守ることも社会への使命と考え 従業員の健康に取り組みました。

当社は、創業から90年を越えて包装資材に携わってきました。袋や箱などの商品パッケージは、世の中のビジネスが洗練されていくにつれてその間大きく変化を遂げてきました。現在、環境マネジメント、低炭素社会の実現、ESGやSDGsをはじめ、企業が責任を持って社会の未来を守ることに積極的に貢献することが求められています。当社においてもその責任を果たしていくことが使命であると様々な取り組みを行っております。そういった社会の未来を守るために大切なことは、実際の担い手である当社の社員の未来を守ること、すなわち従業員の健康を守りつづけなければ、社会に使命を果たして貢献しつづけていけるはずはありません。そう考えていた折に、取引先で「健康経営優良法人」のことを聞き、アクサ生命の担当者からの勧めもあってチャレンジすることにしました。

まずは意識づけに「体力測定会」を実施しました。

まずは、従業員の運動づくりをして健康に対する意識づけしていくことが大切だと感じました。そこで当社では体力測定会を実施し、現在の運動能力や筋力といったものを知ってもらうように「見える化」するようにしました。それぞれが、目標をたて次回の測定会に向けて全社員に導入した運動機会増進アプリ等の活用をし、実践取り組みをするように促しています。当初体力測定しますと言ったら反発があるのではないかと心配しておりましたが、学生時代以来だと喜んでやってくれました。

感染症対策に万全を期しています。

コロナ禍において社内でのクラスター発生防止に向けできる限りの対策を致しており、毎日の検温、消毒液の設置、マスクの配布等を万全を期しています。マスクについては巷で供給が不足していると聞き従業員の家族からの感染リスクも鑑みて家族分のマスクも配布しました。また通勤時の公共交通機関利用者のリスクを避けるため社有車を利用して自宅が同じ方面のもので乗り合わせての通勤をしてもらっています。

問合せ先・担当者

コミュニケーションの活性化によりワークエンゲイジメントを高めています。

ワークエンゲイジメントを高めるためには何よりコミュニケーションであると考えております。当社ではコミュニケーションを高めるため、1年おきに近場（犬鳴山温泉）と遠方（海外、北海道、沖縄）に毎年社員旅行を行っており、ほかにも、夏のバーベキュー大会やゴルフコンペなども開催して親睦を図っています（昨年はコロナでいずれも中止）。また、家族やプライベートでのコミュニケーションの活性化を図ってもらえるように、毎週水曜日の早帰りデー、連続7日間のリフレッシュ休暇制度などを設けてワークライフバランスの推進をしています。

次のステップは筋力の低下防止、維持を中心に

当社の従業員においては半歩先・一歩先のビジネスをお客様と創造し続けたいと頑張ってくれていますが、その思いが健康状態の悪化で阻害されるとしたら、こんなに悲しいことはありません。それがゆえに健康には常に意識を持ってもらえるように、各自専用のアプリを導入し体力測定会や健康診断の結果並びに毎日の体調を常に見れるようにして意識の継続を図っています。そして次のステップとして体の源である「筋力」の低下を防ぎ、高い水準を維持していく取り組みを中心に強化していきたいと考えております。



体力測定会を実施